

◎白馬八方尾根SDGs学習プログラムのご案内



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

八方尾根の環境保全を学ぶSDGsプログラム

学校教育の**新学習指導要領**では、「主体的・対話的で深い学び」として課題発見・問題解決型学習など重視されており、修学旅行においてもSDGsと結び付けたプログラムの需要が増えてきています。

白馬八方尾根は中部山岳国立公園に指定されており、夏は登山、冬はスキー等と年間を通じて観光客が訪れる地域での環境問題や、観光地ならではの課題について考えるプログラムを提供しております。**フィールドワークで自然に触れるとともに、環境への取り組みに対して実際に目で見て理解を深め、考えることを通じて問題解決力を高められる内容**を目指しています。

スケジュール（例）

※当日所要時間：2時間30分（SDGs講習30分ほど） 八方池トレッキングを希望の場合は+60～90分

事前学習（任意）

事前に八方尾根について学習しておくことをおすすめします。（その場合課題の提供は可能です）

15分

ゴンドラ乗車して
兔平へ

30分

■ 環境への取り組みについて
スライドで講義
@うさぎ平テラスにて
<主な内容>
環境保全/再エネ転換/特殊な地質/温泉/ダイバーシティ/気候変動の影響など

90分

■ 八方池山荘までの散策
実際にポイントラリーの箇所をまわって、八方の自然を体感しましょう（リフト2本乗車）
※所要時間は応相談

15分

ゴンドラ乗車して
山麓へ

プログラム料金

40,000円税別（15名～40名）
最大80名まで 追加料金600円/1名

※別途アルペンライン往復乗車料金2,700円/1名が必要となります（料金表は別紙参照下さい）

※ 講師2名でのご案内となります。

※ できる範囲にてご要望にはお応えいたします。詳細はご相談ください。

実績

- ・首都圏高校生向けESDプログラム
- ・スキー場にて学生とのSDGsイベント



お問い合わせ・ご予約

八方尾根開発株式会社
SDGsマーケティング部（担当：松澤）
0261-85-2870



※ プログラムの題材ともなる
取り組みの詳細はこちらからご覧ください▶

大町SDGs教育旅行プログラム体験



大町で未来を考えるSDGs探究学習プログラム

大町市は北アルプスの森と水の恵みを受け、豊富な水資源を利用して農業や製造業・観光が発展してきました。昭和30年代には大町が建設の拠点となった黒部ダム、その後の高瀬ダムなどがあり水とエネルギーに深く関わってきました。

そして2021年、サントリー天然水北アルプス信濃の森工場が大町で稼働を始めました。

100年先の未来においても、今と変わらない「水が生まれる信濃大町」を目指している大町市では、『大町「水の学校」』をキャッチコピーに掲げ、水とエネルギーを学ぶSDGs探究学習プログラムを24件作成しました。各プログラムでは、大町だけでなく皆さんが住んでいる地域、そして世界のさまざまな課題について学びます。参加者の皆さんには、現地学習で得た発見や気づきを、より豊かな未来をつくるため考えるきっかけとなって欲しいと考えています。

No.2 サントリー天然水北アルプス信濃の森工場 未来の「水」を考える

2021年に稼働したサントリー天然水4番目の工場。工場のコンセプトは「未来へ続く物語」。清冽な感動体験をフィールド全体で感じることができるよう、そして「未来の子供たちも、今と同じようにおいしい天然水を飲めるように」という願いを込めて、設計しています。徹底した品質管理に加え、太陽光発電やバイオマスボイラーを活用したサントリー初のCO₂排出ゼロ工場であり、また周辺441haで環境保全・水源涵養を行っており、「水と生きる」サントリーを体感できる工場となっています。



Step 1

事前学習

課題の明確化



水と暮らす信濃大町ブランド公式サイト等により、水の生まれる大町の歴史等を学んでください。
⇒大町にとっての「水」の存在と「水」に対する興味・関心をイメージください。

Step 2

現地学習

答えを導く



信濃の森工場で専任講師によるサントリーの「水育」授業を受講し、水の生まれる仕組みや水を育むための活動を学んでいただいた上で「天然水」の製品になるまでの工程を体感。事前学習での仮説・イメージを検証・実感いただけます。

Step 3

事後学習

掘り下げる

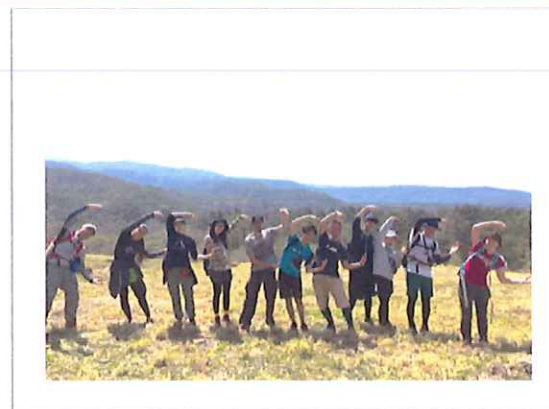


雨・雪から1本の「天然水」になるまでに関わる様々なこと（森・地層・工場の環境対応等）についての考察と未来に向けての課題を考え、大町のあるべき未来をレポートで提言ください。

「茅野市で学ぶ」 SDGs教育旅行プログラム

自然豊かな高原都市で得る達成感と感動

標高800mから2899mに広がる茅野市。同じ季節でも場所によって景色が大きく変わり、それぞれ違った魅力に出会えます。
本格的な登山から、ロープウェイやリフトを利用したハイキング、自然観察など山を舞台に学年・体力・目的に合わせた体験が可能です。
八ヶ岳や霧ヶ峰など国内有数の貴重な環境の中で、五感を使って自然の素晴らしさ・美しさを感じ豊かな感性を育みます。



①工場でものづくりと働くことについて学ぶ



プログラム概要

- 受付時期: 通年
- 体験時間: 1時間30分
- 受入可能人数: 5~120名
- バス駐車場: あり
- 対象学年: 小学生以上
- 体験場所: 茅野市内
提携企業いずれかの社内
- トイレの有無: 有
- 料金: 1,100円~1,650(税込)/人
- 含まれるもの
体験料、保険代

②白樺湖ネイチャーカヌーツアー

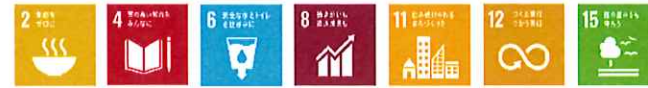


プログラム概要

- 受付時期: 4月~11月
- 体験時間: 約2時間
- 受入人数: 2人~100人程度
- バス駐車場: あり
- 対象学年: 小学生以上
- 体験場所: 茅野市 白樺湖
- 料金: 5,000円(税込)/人
団体割引あり
- 含まれるもの:
体験料、ガイド料、保険代

飯島SDGs教育旅行プログラム体験

飯の島「飯島町」のお米づくりと稲わら細工



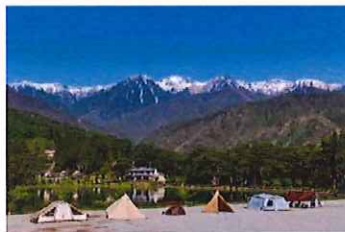
～瑞穂の国を支える飯島の職人～

米作りは、日本＝瑞穂の国の発展に大きく寄与したと同時に、数々の神事を生み出してきたとも言えます。飯島で作られた稲わらを使い日本古来からの神事や伝統工芸を支える職人がいます。「わらむ」の酒井さんは、大相撲の土俵の俵を作ることができるわが国唯一の職人です。春日大社をはじめ、日本各地の神社酒井さんの技をどう継承して日本の伝統を紡いでいくのか昨今のコメ騒動と合わせてみたいですね



～飯の島と千人塚公園～

中央アルプスと南アルプスに挟まれた伊那谷の中央には諏訪湖を源とした天竜川が流れています。成長を続ける両アルプスから流れ出た岩石が扇状地を作り、蛇行を繰り返した天竜川によって国内最大級の河岸段丘が形成されました。「千人塚公園」は戦国時代に北山城と呼ばれ、織田郡の攻めによって落城した跡地に整備されましたが空堀を利用して農業用の溜池「城ヶ池」が整備されました。この池によって中央アルプスの雪解け水が温められ飯の島の水田に利用されています



～循環型農業が育む南信州の恵み～

畜産と果樹との複合経営によって、循環型農業を実践しています。化学肥料を使わず養豚で算出された発酵堆肥を投入し、桃、梨、林檎干し柿などを栽培しています。化学肥料の長期にわたる使用は土壌の荒廃を進める恐れが指摘されており、健康な食の提供を目指すと同時に、ソーセージ作りやキャンプ場運営などによるアグツーリズムの提唱も図っています



まつかわSDGs教育旅行プログラム体験



農ある暮らし

農家の仕事の苦勞ややりがいに触れる

くだもの畑ガイドウォーク



●コンセプト くだもの農家の想いに触れる

●内容

くだもの里 松川町に広がる一面のりんご畑。この地区はかつては森に覆われていて、先人たちが長い時間をかけて土地を開墾し現在の姿となっています。その中のりんご農家さんの畑におじゃまして、普段なかなか聞くことのできない、りんご作りにまつわる苦勞話ややりがいなど農家さんの想いにじっくり触れます。その後はお楽しみりんご狩り&試食体験。最後はお家の方へのお土産づくりも。他にさくらんぼやブルーベリー、ぶどう農家さんでの体験も可。収穫期以外の時期でも摘果・摘花など季節ごとの作業の様子を見学できます。

| | |
|------|--------|
| 実施時期 | 通年 |
| 体験時間 | 1.5時間 |
| 受入人数 | 40名×6組 |
| 雨天開催 | OK |

●目的

普段食べているくだものが、手間ひまをかけて作られていることを知ると共に、果樹農家の仕事のやりがいを理解する。

●期待される効果

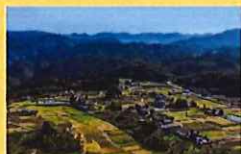
- ・食べ物は誰かの想いが乗って時間をかけて大切に作られていることを知り、生産者への感謝の気持ちを高められる。
- ・農家さんの苦勞話ややりがいを聞くことで、誰かのために働くことへの興味を持つことができる。



＜南信州まつかわの3つの地域ブランド＞

二つのアルプスに抱かれた豊かな自然

中央アルプスと南アルプスの間の大きな「谷」、伊那谷、雄大な山々の麓には、奥深き森や恵み豊かな里山が広がっています。芽吹き春、青葉がまぶしい夏、



今も守り継がれる農ある暮らし

長野県のなかでも比較的温暖なこのエリアは、梨の最北栽培地とりんごの最南栽培地が重なる場所。恵まれた気象条件も手伝い、多様な果樹の栽培が盛んです。



あたたかな人柄 まつかわ人

宿場町があり、多くの人の往来で賑わったその歴史からか、旅人をあたたかく受け入れる人好きの気質がまつかわの人々の大きな魅力。

